

館林市教育研究所 教育支援センター 「ふれあい学級」

☐開設 平成4年4月13日
☐代表者職氏名 所長 峯崎 正樹
☐所在地 〒374-0029 館林市仲町14-1
 館林市民センター内
☐電話・FAX TEL・FAX(0276)72-0542[事務室]
 TEL(0276)73-4152[子ども相談室・ふれあい学級]

1 運営の目的

不登校の状態を示す児童生徒の悩みや不安を軽減し、自主性・自律性・社会性・規律性・耐性等の発達を援助するとともに、在籍校や保護者との連携を図りながら個に応じて段階的に支援し、児童生徒の社会生活への適応・社会的自立を目指す。

2 R8年度職員の構成・分担[4/1現在]

所長(兼務) 峯崎 正樹 (総括)
 所長代理 村上 一美 (副総括)
 指導主事 大竹 宏道 (指導全般)
 教育相談員 島田 陽子 (教室主任)
 " 田野入 康裕 (相談主任)
 " 土屋 さと子
 " 櫻井 佐和子
 事務員 齊藤 綾子 (事務担当)

(2) 開設期間 (R8年度) 市内小中学校と同じ

1学期 4月 7日～ 7月17日
 2学期 9月 1日～12月24日
 3学期 1月 7日～ 3月26日
 (*中3生は3月12日、小6生は3月24日まで)

(3) 主な日課 (9:00～9:15登所)

9:15～9:30	朝の会	健康観察
9:30～10:00	you ゆうタイム	話や読書
10:15～11:00	教科学習	国数英等
11:15～12:00	教科学習	タブレット
12:00～13:00	昼食・休憩	自由時間
13:00～14:45	ふれあいタイム	体験活動
14:45～15:00	帰りの会	振り返り

* 午前にはカウンセリング、コグトレ、ソーシャルスキルトレーニングを必要に応じて行う。
 * 午後は体験的活動等を行う。

3 入級対象及びR7年度受入状況

(1) 入級対象

原則として、館林市内の小・中学校に在籍し、不登校状態にある児童生徒のうち、本人及び保護者が入級を希望し、当該学校長が入級に同意し、かつ教育研究所長が許可した者とする。

(2) 令和7年度の受け入れ状況

[3月31日現在]

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
女	0	0	0	1	1	0	1	4	3	10
計	0	0	0	1	1	0	1	4	5	12

(4) 主な行事 (R8年度)

4月	学校トライ期間開始 1学期始まりの式
5月	保護者参観及び保護者会①
7月	野外体験①(東毛青少年自然の家) 1学期終わりの式
9月	2学期始まりの式
10月	野外体験②(東毛青少年自然の家)
12月	親子調理・保護者会② 2学期終わりの式
1月	3学期始まりの式
2月	野外体験(市外)③
3月	保護者参観及び保護者会③ 3学期修了式

4 開設状況

(1) 開設日時

月～金曜の毎日 9:15～15:00

* 祝日及び夏季休業日等は除く。月曜は午前中。

このほか、1 Day Walk(年4回)やたてばやし向井千秋記念子ども科学館等で開催される「ROCKET Lab」へ参加予定。

5 入級の手続き、入級後の流れ

(1) 入級の手続き

見学、教育支援センターへの申し込み

- ・学校、保護者からの相談



インテーク(保護者・本人へのカウンセリング)

- ・調査票への記入(保護者)



来所相談の実施(学級体験含め複数回)



入級申し込み

- ・教育支援センターへの入級の是非を判断
- ・保護者は在籍校校長に入級願を提出
- ・校長が承諾し、研究所へ入級願を提出
- ・担任は児童生徒の個別指導票を作成



入級の許可

- ・入級通知書を在籍校校長あてに送付

(2) 入級後の流れ

教育支援センターでの学習・活動

- ・集団指導(教科学習、体験活動)
- ・個別指導(カウンセリングなど)



学校への近づき体験(本人の意思に応じて)

- ・在籍校学級の友だちや担任との交流
- ・在籍校学級のプリントに挑戦
- ・校門、駐車場登校、別室登校など



学校・家庭と連携した登校支援



- ・別室登校(相談室など)から教室復帰へ
- ・登校の形態については、本人・保護者の考えを聞き、学校と協議のうえ決定

6 学校、家庭及び関係機関との連携

(1) 学校との連携

- 電話連絡、学校訪問等による相談員と学校との密接な情報交換
- 月ごとに、学校へ「ふれあい学級だより」と通級状況を送付
- 学級担任等による活動参観・情報交換会の実施
- 学校トライ期間(学期の始めと終わり)・登校チャレンジ(適宜)の実施
- 本人の意思、状況に応じて相談室・保健室登校等への支援
- 学校と連携した進路指導(学習支援)
- 学校配置の相談員等との連携
- 指導主事によるコンサルテーション

(2) 家庭との連携

- 月1回程度の保護者の面接の実施
- 学期1回の保護者会の実施
- 毎月、「ふれあい学級だより」を発行
- 親子での体験活動の実施(親子野外体験、親子ケーキ作り等)
- 「明日へのいっぽ(不登校を考えるつどい)」の実施(保護者対象・年3回)

(3) 関係機関との連携

- 野外体験行事における、市内の不登校児童生徒への参加の呼びかけ(学校を通して)
- 邑楽郡の教育支援センター(適応指導教室)との連携(野外体験行事の共同実施等)
- 教育支援センター運営協議会の実施(年1回。地域住民代表、主任児童委員、学校関係者、学校相談員等で構成)
- スクールカウンセラーとの連携(館林勤務SC連携会議、講座及び学習会等の講師の依頼、コンサルテーション等)
- 学校相談員連絡協議会の実施(スクールカウンセラー、生徒指導担当嘱託員、心の教室相談員との話し合い)
- 群馬県総合教育センター、群馬県市町村適応指導教室連絡協議会等を通じた他の教育支援センター(適応指導教室)との連携、情報交換
- 必要に応じての専門機関を紹介

7 ふれあい学級の活動

(1) 野外体験活動(年3回)の実施を計画

(2) 「1Day Walk」

(年4回・木曜日または金曜日)

通級生に自然や仲間とのふれあいや、達成感や満足感を味わせるための1日かけての野外活動。館林市内外散策やハイキング等を通級生の実態に応じて計画

(3) ふれあいタイム(火～金の午後)

図画工作、軽スポーツ、市内散策・施設利用、調理実習、裁縫、書き初め、豆まき等の季節行事、美術館や科学館見学等の体験活動を実施

(4) 登校チャレンジ(適宜)・学校トライ期間(每学期始めと終わり頃)

毎週金曜日及び毎学期の始めと終わりに在籍校への登校を促し、学校と連携しながら自主登校できるよう段階的に支援を実施

